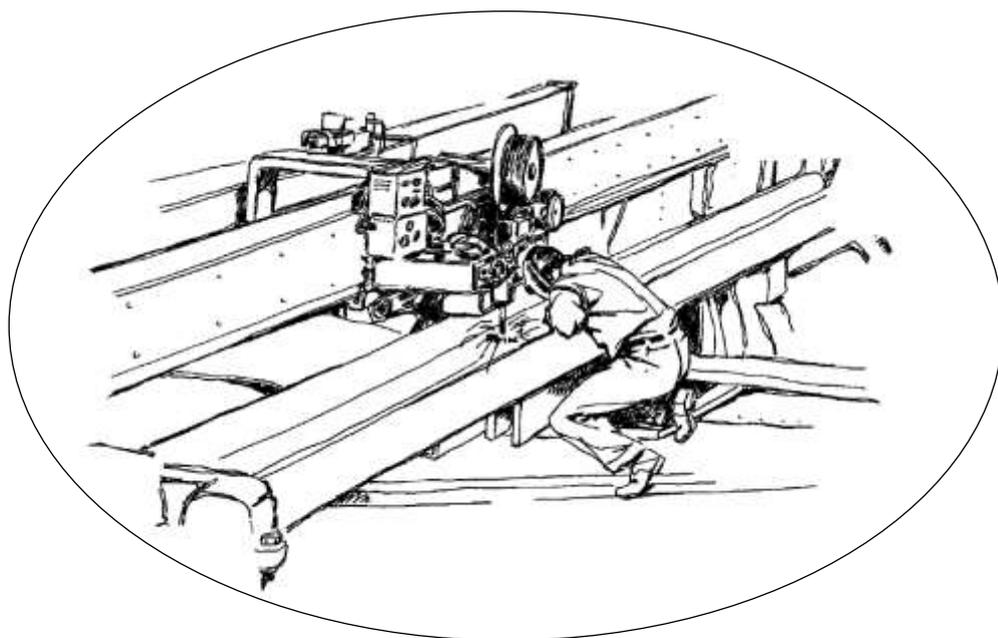


令和7年度
ものづくり中小企業総合技術支援
業界対応専門研修受講案内

溶接技術研修

期間 令和7年11月18日～12月16日



名古屋市工業研究所

《 研修生募集要綱 》

- 研 修 目 的 当地域では技能五輪予選、町工場技能者コンクールなどの技術競技会が盛んに行われ若年技能者育成の気運が高まっている中、溶接においても若者の技能・技術の向上が求められている。
そこで(一社)愛知県溶接協会の協力の下、技能五輪や全国溶接技術競技会に選手を派遣している有力企業から講師を迎え、溶接の基本技術である全国溶接技術競技会の課題を題材として実技主体の研修を行うことで、中小企業若年者の溶接スキルの向上をはかるとともに、ものづくり現場において優れた溶接施工能力を持つ人材の育成を目指す。
- 研 修 期 間 令和7年11月18日(火)、25日(火)、12月2日(火)、9日(火)、16日(火)
お よ び 時 間 午前9時30分 ～ 午後4時30分(昼 1 時間休憩)
講義 9時間、実習 21時間 計 30時間
- 研 修 場 所 名古屋市工業研究所(名古屋市熱田区六番三丁目 4 番 41 号)
- 募 集 人 員 8名
- 受 講 資 格 溶接経験を有し、事業主から推薦を受けた方で、労働安全衛生法に基づくガス溶接技能講習およびアーク溶接等特別教育を修了している 40 歳以下の者が望ましい。
- 受 講 料 50,000 円
- 修 了 認 定 証 所定時間数(日程の 3/4)以上出席の受講者には、名古屋市長より修了認定証を交付します。
- 申 込 方 法 受講希望者は下記受講申込フォームよりお申し込みください。または別紙 受講申
お よ び 選 考 込書に必要事項を記入のうえ、Eメール添付・郵送・ファックスのいずれかによりお申し込みいただいても構いません。お申し込み期限は 10 月 24 日(金)です。研修目的に掲げた趣旨に則り、当地域中小企業の若年者からの申込を優先しますのでご了承ください。受講決定者には後日開講日時などの詳細を連絡します。
受講申込フォーム <https://logoform.jp/form/mX9C/1178137>
〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目 4 番 41 号
名古屋市工業研究所 支援総括課 Fax(052)654-6788
- 
- 受講申込フォーム
二次元コード
- 問 い 合 せ 先 名古屋市工業研究所 材料技術部 金属材料研究室 松井 Tel(052)654-9880
- 受 講 料 の 納 入 受講決定通知の際に受講料納入通知書を送付しますので、指定期日までに納入して下さい。
- そ の 他
- ・ 納入された受講料の払戻しはいたしません。
 - ・ 講義日程等は変更することがあります。
 - ・ 研修中の事故については一切責任を負いません。
 - ・ 本研修は(一社)愛知県溶接協会と中部溶接振興会の協力により実施します。
 - ・ 最終日に曲げ試験を実施しますが、試験片の加工ができない企業には、委託加工の業者を別途有償でご紹介します。

《研修科目と講師》

回	科 目	時間	講 師	内 容
1	(講義) アーク溶接の概要	3	一般社団法人 愛知県溶接協会 加藤 喜久 氏	研修ガイダンスとアーク溶接の概要
	(講義) 鉄鋼材料の基礎と材料試験	3	名古屋市工業研究所 松井 則男	溶接に必要な鉄鋼材料の知識と溶接材の材料試験について解説
2	(実習) 被覆および炭酸ガスアーク溶接の基礎 (1)	3	株式会社豊田自動織機 小山 巧 氏 安田 将貴 氏	溶接機の各種機能の特徴とその習得 開先加工および仕上げ加工の留意点
	(実習) 被覆および炭酸ガスアーク溶接の基礎 (2)	3	同上	薄板・中板の突き合わせ溶接による ビード形成と繋ぎ方
3	(実習) 被覆および炭酸ガスアーク溶接の応用 (1)	3	同上	薄板端面のビード形成 (スタート側 およびクレータ側) 溶接ビード繋部のブローホールの発生防止
	(実習) 被覆および炭酸ガスアーク溶接の応用 (2)	3	同上	中板端面のビード形成 (スタート側 およびクレータ側) 溶接ビード繋部のブローホールの発生防止
4	(実習) 被覆および炭酸ガスアーク溶接の応用 (3)	3	同上	薄板横向突合わせ溶接のポイント 揃ったビード形成のテクニック
	(実習) 被覆および炭酸ガスアーク溶接の応用 (4)	3	同上	中板立向突合わせ溶接におけるビードの形成
5	(実習) 溶接試験材の評価	3	名古屋市工業研究所 深谷 聡 玉田 和寛	作製した溶接試験材のマクロ試験 および曲げ試験
	(講義) 溶接品の評価法と評価結果のまとめ	3	一般社団法人 愛知県溶接協会 加藤 喜久 氏	各種評価法 (外観試験、放射線透過試験、曲げ試験、マクロ試験等) の解説 と評価結果のまとめ

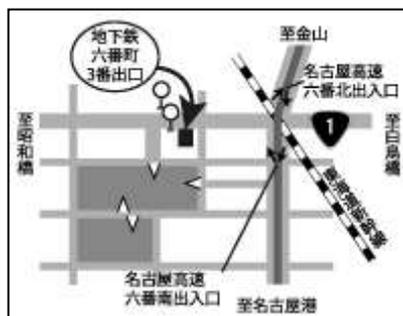
※ 2～4 回目の実習は被覆アーク溶接と炭酸ガスアーク溶接のそれぞれの溶接法に対し 2 つのグループに分けて行う予定です。進行具合により実習内容が前後することがあります。

《日 程 表》

回	月/日 (曜日)	時間	午 前 (9:30~12:30)	会 場	午 後 (13:30~16:30)	会 場
1	11/18 (火)	6	アーク溶接の概要 (講義)	管理棟 4階 セミナールーム	鉄鋼材料の基礎と材料試験 (講義)	管理棟 4階 セミナールーム
			(一社)愛知県溶接協会 加藤		名古屋市工業研究所 松井	
2	11/25 (火)	6	被覆および炭酸ガスアーク溶接の 基礎(1) (実習)	中間実験 工場2階	被覆および炭酸ガスアーク溶接 の基礎(2) (実習)	中間実験 工場2階
			(株)豊田自動織機 小山・安田		(株)豊田自動織機 小山・安田	
3	12/2 (火)	6	被覆および炭酸ガスアーク溶接 の応用(1) (実習)	中間実験 工場2階	被覆および炭酸ガスアーク溶接 の応用(2) (実習)	中間実験 工場2階
			(株)豊田自動織機 小山・安田		(株)豊田自動織機 小山・安田	
4	12/9 (火)	6	被覆および炭酸ガスアーク溶接 の応用(3) (実習)	中間実験 工場2階	被覆および炭酸ガスアーク溶接 の応用(4) (実習)	中間実験 工場2階
			(株)豊田自動織機 小山・安田		(株)豊田自動織機 小山・安田	
5	12/16 (火)	6	溶接試験材の評価 (実習)	研究棟 1階 R109 2階 R211	溶接品の評価法と評価結果の まとめ (講義)	管理棟 4階 セミナールーム
			名古屋市工業研究所 深谷・玉田		(一社)愛知県溶接協会 加藤	

交 通

- 地下鉄 名港線「六番町」下車3番出口すぐ
- 市バス「六番町」下車すぐ
- 三重交通バス「名鉄バスセンター」3階から
乗車し「熱田六番町」で下車すぐ
- 名古屋高速 4号東海線「六番北」「六番南」
出口すぐ



(お問い合わせ先)

〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目 4-41

名古屋市工業研究所 材料技術部 金属材料研究室 松井

Tel(052)654-9880 Fax(052)654-6788 URL <http://www.nmiri.city.nagoya.jp>

FAX (052)654-6788

受講申込書

(あて先) 名古屋市長

令和7年 月 日

令和7年度 業界対応専門研修(溶接技術)に受講を申し込みます。

(ふりがな)

受講者氏名

年齢

歳

(ふりがな)

会社名

(ふりがな)

代表者役職・氏名

(代表者生年月日)

年

月

日

〒

会社所在地

電話

FAX

ホームページ
アドレス

受講者 連絡先	〒 電話 FAX メール	連絡責任者 氏名	
		連絡責任者 所属・役職	
受講者 所属(部課) 受講者 担当業務	(上記会社所在地と 異なる場合、勤務地・ 工場名等を記入)	主要製品	
		資本金	
		従業員数	

※ ご記入頂きました個人情報、研修生への連絡など研修目的以外には使用しません。

●アンケート：2～4回目の溶接実習の希望についてお伺いします。希望の番号を○でお囲み下さい。

1. 被覆アーク溶接を希望 2. 炭酸ガスアーク溶接を希望 3. 両方の溶接法を希望

上記溶接の経験年数 1. 3年未満 2. 5年未満 3. 7年未満 4. 7年以上

暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。
なお、その判断をするに当たっては、暴力団員であるかどうか等について、愛知県警察本部長の意見を聴くことがあります。